西伊豆町 議会だより

第78号
2024年
9月定例会

7月20日　わくわく体験村子ども体験会（係船釣り体験）

9月定例会・臨時会	2～5
令和5年度決算の認定	6～7
一般質問	11～16
議会の動き	17～19

議会だより、定例会一般質問動画は、西伊豆町ホームページでもご覧になれます。

9月定例会

観光地域づくり整備事業工事

開催期間	9月3日から9月13日まで
審議した案件	町長提出議案　18件　発議2件
可決した議案	令和5年度一般会計ほか6つの特別会計の決算認定、条例改正1件 財産の取得2件、指定金融機関の指定、一般会計補正予算（第6号）ほか2つの特別会計補正予算、水道事業会計補正予算（第1号） 黄金崎クリスタルパーク改修工事ほか2件の請負契約の締結 発議1件

こんなことが、決まりました。

一般会計補正予算（第6号）
（全員賛成）

歳入歳出それぞれ3億890万9千円を追加し、予算総額を85億4061万4千円とするものです。主な歳入は、定額減税減収補填特例交付金分が追加された地方特例交付金が2313万4千円、普通交付税算定の決定に伴い増額された地方交付税7988万1千円などで、確定した前年度繰越金3億3412万6千円を計上し、財政調整基金繰入金を1億5780万9千円減額します。歳出の主なものは確定したワクチン接種委託料2666万2千円や自治体DX環境構築に1706万1千円、安良里地区シャロン跡地整備工事に700万円、財政調整基金積立金1億9974万5千円などです。

空き家入居支援事業補助金　240万円

問　改修費として具体的に上がっている内容は。

答　申請が多く、問い合わせ4軒分の住宅改修費や家財処分を合計した上での不足分です。

水産業共同施設整備事業費補助金　210万円

問　この補助金支出には町単独の要綱はないが。

答　1/3の県の補助を受けるためにも、それに合わせて今回要綱を整備しました。

国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
（全員賛成）

歳入歳出それぞれ140万円を追加し、予算総額はそれぞれ12億2560万円です。歳出の主なものは資格確認書発行費用の増額と保険給付費の返還です。

問　資格確認書は何枚発行するのか。

答　200枚程度あれば十分かと思いますが、500枚を購入予定です。

介護保険事業特別会計補正予算（第1号）
（全員賛成）

歳入歳出それぞれ270万円

着工へ

６年度観光地域づくり整備事業内容
◎クリスタルパーク改修工事
　契約金額：5335 万円
　工事概要：ウッドデッキ新設、外壁塗装塗替え、スロープ付け替えなど
◎芝生広場公衆トイレ解体及び新築工事
　契約金額：5665 万円、延べ床面積：51.76 ㎡
　工事概要：経年劣化による建て替えで新たに多目的トイレを追加

を追加し、予算総額はそれぞれ13億2040万円です。主に交付金確定に伴う超過分を社会保険診療報酬支払基金に返還するものです。

水道事業会計補正予算（第１号）
（賛成７：反対２）

　黄金崎柴線配水管布設替工事に649万９千円を支出しこれに伴い消費税還付金59万１千円を増額します。

問　耐震化はしないのか。

答　耐震化は水道ビジョン計画に基づいて進めています。この先に住宅街もないことから耐震化はしません。

賛成討論　今までも地震で破裂したこともなく、また市街地でもない。給水車も購入したので賛成。

黄金崎クリスタルパーク改修工事請負契約の締結
（全員賛成）

問　このような高額な工事であるのに説明が今まで全くなかったが。

答　黄金崎の観光地エリア景観計画の中の一つの工事です。来年度もありますので、事前に説明をしていきたいと思います。

問　落札率が99％以上だが、こういう状況が続いていることはどう考えるか。競争してもらいたいと考えるが。

答　沼津以東までＪＶ※の範囲を広げています。しかしながら２社しか応募がありませんでした。町としても引き続き町内業者にＪＶを組んでの参加を働きかけます。

ＪＶ※（共同事業体）
複数の建設企業が、一つの建設工事を受注、施工することを目的として形成する事業組織体のこと。

沓座（しゅうざ）※
橋台に橋桁をのせる調整部材のこと。

黄金崎公園芝生広場公衆トイレ解体及び新築工事請負契約の締結
（全員賛成）

問　工事期間中に仮設トイレは設置されるのか。

答　５基設置予定です。

問　ソーラー電源を設置しない理由は。

答　日当たりが悪いので検討しませんでした。

汁谷橋長寿命化対策工事請負契約の締結
（全員賛成）

　架設から39年が経過し、５年度の詳細調査と補修設計に基づき工事を行います。
契約金額：5225万円
工事概要：塗装塗替え、沓座（しゅうざ）※

黄金崎クリスタルパーク改修イメージ

モルタル補修工、伸縮装置取替工など。

問　塗り替えの色は。

答　環境に配慮した目立たない色にするという県の基準に従い、現地で色を判断します。

国民健康保険条例の一部を改正する条例案
（賛成８：反対１）

国民健康保険の紙の被保険者証が廃止され、新たにマイナ保険証に移行するため、紙の被保険者証の返還に関する箇所を削除しました。

問　紙の被保険者証は全てマイナ保険証に移行するのか。

答　資格確認書が発行されますので、それを利用いただけます。

財産の取得（消防ポンプ自動車）
（全員賛成）

老朽化した消防ポンプ自動車を2112万円で更新するもので第４分団に配備します。

問　今までのものは５ｔだったが、3.5ｔにした理由は。

答　ポンプや車体の材質改善により、車体総重量が軽量化され、普通免許証でも運転が可能なためです。

財産の取得（給水車）
（全員賛成）

災害時に使用する給水車を1914万円で購入します。

問　給水車はもっとタンクが大きい方がいいと考えるが。

答　職員の誰もが運転できるようにタンク1000㍑のワンボックスタイプにしました。

指定金融機関の指定
（全員賛成）

６年10月１日から７年６月30日まで三島信用金庫を指定します。窓口収納手数料を減額させるため金融機関からの派出を撤廃します。

問　派出を撤廃すれば他の金融機関の可能性はないのか。

答　再度聞き取りましたが、エントリーはありません。

第３回臨時会 令和６年７月25日

認定こども園安良里候補地測量業務700万円否決

一般会計補正予算（第４号）
（全員賛成）

しっかりとした復旧工事を

６月18日の豪雨災害復旧工事費等１億570万円と工事用地購入費142万円です。

浜川河川災害復旧工事 8800万円

問　災害復旧工事は原状復帰が原則なので、予定している工法が認められないと、どのくらい金額が動くのか。

答　査定に通ると思われる設計をしているが、1000万円規模の減額もあり得ます。

浜川災害復旧工事用地購入費 142万円

問　用地は個人の土地か。

答　個人１名の土地で、問題なく購入できると思います。

一般会計補正予算（第５号）原案
（賛成２：反対７）

歳入歳出にそれぞれ4442万円を追加し、予算総額は82億3870万５千円です。

歳入は、国庫補助金1021万８千円と基金繰入金2713万６千円などです。

歳出は、本庁舎駐車場改修工事1700万円、認定こども園安良里候補地測量業務700万円、低所得者支援・定額減税補足給付費893万１千円などです。

主な質疑は次の通りです。

本庁舎駐車場改修工事 1700万円

問　当初予算に計上すべき工事だが、なぜこの時期か。

答　津波避難施設利用者などの意見を事前に聞かず、気付くのが遅れました。

問　1700万円もの工事なら口頭だけでなく、事前に図面を用意して説明すべきだ。

答　その点は十分反省します。

認定こども園安良里候補地測量業務　700万円

問　測量の始まりは、安良里に決定ということか。

答　町は答申に従って進めていくしかありません。

問　ダンプ公害というリスクが議論されていないが。

答　国道の方が車の量は多く、この問題がクローズアップされるのは変で、現状とあまり変わらないと思います。

一般会計補正予算（第５号）修正案
（賛成７：反対２）

認定こども園安良里候補地測量業務700万円を０円に減額するものです。

【修正案への主な質疑】

問　修正動議が可決の場合、工事への影響は。

答　９月議会に再上程でも最低２か月遅れますが、先ずは測量をしないと明確な答えは出来ません。

【討論】

原案に賛成　議会がより良い候補地を提案できない以上は可決すべきで原案に賛成。

原案に賛成　諮問に対し慎重に検討された答申の通りに進めている原案に賛成。

修正案に賛成　リスクを実際に現地確認してからでも遅くはないので減額に賛成。

修正案に賛成　ワークショップの実態や諮問委員会の採決方法など、この答申は信頼に足らず、安良里は妥当ではないと考え減額に賛成。

本庁舎駐車場を改修します

水上オートバイ等の安全な利用の促進に関する条例
（全員賛成）

町周辺海域における危険行為や、遊覧船事業者への運行妨害などに対し、安全な利用促進を図るためのものです。

問　海水浴場区域内に乗り入れ禁止を明記しないのか。

答　町の海水浴場条例で既に謳（うた）われています。

人権擁護委員候補者の推薦
（全員賛成）

前任者の任期満了に伴い、浅賀祐子さんを新たな委員に推薦することに同意しました。

浅賀祐子氏（宇久須）

令和５年度 一般会計 特別会計 企業会計 決算を認定

一般会計　４億9513万７千円の黒字。
歳入総額80億1153万６千円、歳出総額75億1639万９千円、
繰越明許費（来年度に残すべき事業費）6101万１千円。
サンセットコイン事業が一般会計から特別会計に移ったことなどにより、
決算総額は約18億円減少。

一　般　会　計
（賛成７：反対２）

問　第一次産業を活用した観光コンテンツ化移住推進業務の委託先と事業の検証は。

答　委託先は株式会社西伊豆プロジェクトです。この事業を含む地方創生推進交付金事業の重要業績評価指数（ＫＰＩ）の検証会を毎年９月以降に実施しており、５年度事業はこれから実施します。

問　放課後児童クラブは仁科小学校以外は新たな設置が難しいということだが、解決法は。

答　一番大きな問題は支援員確保であり、教室の確保も問題があるため、代案として、今年度からは宇久須から仁科までスクールバスで児童を送っています。

問　誘客宣伝事業の成果で、非常に高い誘客を図ることができたとあるが。

答　インフルエンサーによる動画配信を行ったところ、その月は動画で紹介されたホテルの予約が例年に比べて２割増えたとか、動画配信に合わせてキャンペーンを行ったところ売り上げが伸びるなど、実際に何人来たか数字では表せませんが、実績として西伊豆に来ていただいた方が多かったのは、わかっています。

放課後児童クラブを賀茂小にも

問　これから南海トラフ地震に対して町は防災機材を充実していく考えはあるのか。

答　今後防災課を中心に、防災機材の総点検を行う予定です。

問　松くい虫防除の効果は。

答　止めたら軒並み枯れてしまう可能性があります 。

反対討論　文教施設等整備委員会は根拠となる条例がなく、委員に報酬が支払われていることは違法なので、反対。

賛成討論　予算に対応し粛々と執行をされていると思うので賛成。

国民健康保険特別会計　5933万３千円の黒字。
歳入総額12億1867万９千円、歳出総額11億5934万６千円。
後期高齢者医療特別会計　37万９千円の黒字。
歳入総額３億1127万３千円、歳出総額３億1089万４千円。
介護保険事業特別会計　１億1113万８千円の黒字。
歳入総額13億8271万１千円、歳出総額12億7157万３千円。

国民健康保険特別会計（全員賛成）

問　入院外保険給付については、調剤の医療費が減少したのはジェネリック医薬品が多かったからか。

答　ジェネリック医薬品の利用率は86.8％となっており、調剤の医療費が低くなった要因の一つであると推測されます。

後期高齢者医療特別会計（全員賛成）

問　高齢者の障害認定者が倍増している要因は。

答　国民健康保険の医療費の適正化のため、加入している65歳以上の方で、後期高齢者医療保険に加入できる一定の障害がある方に移行を勧奨した結果だと思います。

介護保険事業特別会計（全員賛成）

問　介護医療院の今後の利用者の動向は。

答　団塊の世代が75歳以上を迎え、入所を必要とされる方が増えると施設に頼らざるを得ない方も出てくると思いますので、その辺は慎重に、見極めていきたいと思います。

サンセットコイン事業特別会計	差引金額	5887万5783円
水道事業会計	純利益	1741万5990円
温泉事業会計	純利益	1334万7200円

サンセットコイン事業特別会計（全員賛成）

問　ランニングコストを低額に抑えるよう創意工夫していきますとあるが具体的な内容は。

答　現在貸与している携帯端末40台の通信料を支出しておりますが、通信料削減のため、各事業所のWi-Fiへの接続に向けて協議しています。

水道事業会計（全員賛成）

問　漏水調査を行う場合のエリア選定は、どのように行っているのか。

答　毎年エリアを分けながら調査していますが、特に夜間流水が多い場合は、漏水が疑われるため、優先的にそこのエリアを調査しています。

温泉事業会計（全員賛成）

問　老朽化している温泉配湯施設の整備を計画的に実施し、安定的な配湯と持続的な事業運営を目指すとあるが、整備計画は策定しているか。

答　西伊豆町温泉事業経営戦略を策定してありますので、それに沿って実施していきます。

監査委員からの意見書

令和５年度 監査委員意見書（抜粋）
監査委員　鈴木宏男・山田厚司

一般会計
国民健康保険特別会計
後期高齢者医療特別会計
介護保険事業特別会計
サンセットコイン事業特別会計

審査結果

決算計数は関係帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。

また、各基金の運用状況を示す書類の計数についても、関係諸帳簿及び証拠書類と符合しており、誤りのないものと認められた。更にその内容について担当課長（局長）等の説明を受け審査を実施した結果、内容も正当なものであった。

指　導　事　項

各課（局）共通

監査調書の作成にあたっては、記載誤りを防ぐために、監査調書の提出前に内容を充分に確認をすること。また、記載された数字の根拠となる資料は用意しておくこと。

各課（局）別

産業振興課

ふるさと応援寄附金が前年比大幅減となった。要因として魚介類等の原材料高騰による返礼品の値上げや制度改正による値上げが主であるとの分析であった。改善策として既存返礼品の改良、返礼品の開拓、宿泊券の普及をあげているが実績は乏しい。今後、一層の努力をして改善、目標達成を望みます。

教育委員会

夕陽の郷マラソン大会の開催は、検討し方向性を見いだしていただきたい。

代表監査委員の報告

水道事業会計

水道は、住民の生活を支える重要な事業であり、その安定的な運営は当町の基幹産業である観光産業にとっても最重要要素の一つである。５年度は、新型コロナウイルス感染症による影響から回復傾向にあり、純利益は増となっているが、高齢化や少子化、人口の減少といった流れは進み、今後も利用者の継続的減少による収入減が懸念され、経営環境は年々厳しくなるものと推測され、それを踏まえて経営に当たらなければならない。経営の安定化と安全な水の安定供給の維持を引き続きお願いしたい。

温泉事業会計

観光立町である当町にとって温泉は欠くことのできない資源である。社会情勢の影響による燃料費の高騰や、サービス需要の減少及び保有する施設の老朽化に伴う更新需要の増大など厳しさを増している。このため、施設の維持管理を徹底させ長寿命化を図り、温泉配湯施設の整備を計画的に実施し、安定的な配湯と継続的な事業運営を引き続きお願いしたい。

国に提出する意見書を審議

地震財特法の延長に関する意見書（全員賛成）

「地震対策緊急整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律（地震財特法）」が、令和７年３月31日をもって期限を迎えるため、地震財特法の有効期間の延長等について、国に対し強く要望するため、本意見書を全員賛成で提出するものです。

最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書（賛成２：反対７）

中小企業への支援策を拡充しながら最低賃金を引き上げ、生活を安定的に維持できるよう全国一律制度（1500円）の実現等について、国に対し要望するため本意見書を審議した結果、賛成少数で否決されました。

原案に反対：中小零細企業への補助の原資は皆様からの税金であり、新たな税の支出先が出来上がると増税の口実にされる可能性もある。一度徴収された税金が途中で目減りしながら、再び返ってくる仕組みはこれまでも多くつくられ、日本の経済を停滞させてきた。国家権力による市場への介入を極力減らすことこそが、経済を動かし労働者の賃金を上げることにつながるため、本意見書には反対である。

原案に賛成：国の2030年代半ばまでに全国加重平均1500円まで引き上げる目標では、弊害である地域格差を国がつくり続けていくことになる。中小零細企業支援の財源については、中小零細企業から吸い上げた大企業の内部留保金に課税して財源確保するという意見もあり、財源はいかようにもなると考えるため、本意見書に賛成である。

議案の議決結果

賛成…〇　反対…×　欠席…欠　退場…退

会議名	審議した議案と主な内容（議案名はわかりやすく変更しています）	松田貴宏	浅賀元希	仲田慶枝	堤豊	芹澤孝	高橋敬治	山田厚司	西島繁樹	堤和夫	増山勇	議決結果
第３回臨時会	**専決処分の承認　一般会計補正予算（第４号）** ［1億712万円を増額するもの］	〇	〇	〇	ー	〇	〇	〇	〇	〇	〇	承認
	水上オートバイ等の安全な利用の促進に関する条例の制定 ［海域等での危険行為の禁止を定めるもの］	〇	〇	〇	ー	〇	〇	〇	〇	〇	〇	可決
	建設発生土の処理等に関する条例の制定 ［建設発生土の処理等について定めるもの］	〇	〇	〇	ー	〇	〇	〇	〇	〇	〇	可決
	一般会計補正予算（第５号）修正動議 ［認定こども園安良里候補地測量業務費700万円を削除するもの］	×	〇	〇	ー	〇	〇	×	〇	〇	〇	修正可決
	一般会計補正予算（第５号） ［3742万円を増額するもの］	〇	〇	〇	ー	〇	〇	〇	〇	〇	〇	可決※１
	人権擁護委員候補者の推薦 ［前任者の任期満了により任命するもの］	〇	退※2	〇	ー	〇	〇	〇	〇	〇	〇	適任

※１修正議決した部分を除く原案について可決しました。
※２浅賀議員は関係者であるため、採決に加わりません。

会議名	審議した議案と主な内容（議案名はわかりやすく変更しています）	松田貴宏	浅賀元希	仲田慶枝	堤　豊	芹澤　孝	高橋敬治	山田厚司	西島繁樹	堤　和夫	増山　勇	議決結果
9月定例会	**国民健康保険条例の一部を改正** ［マイナ保険証移行により紙の被保険者証の返還を削除するもの］	○	○	○	－	○	○	○	○	○	×	可決
	財産の取得（消防ポンプ自動車） ［消防ポンプ自動車１台を取得するもの］	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	可決
	財産の取得（給水車） ［給水車１台を取得するもの］	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	可決
	西伊豆町指定金融機関の指定 ［三島信用金庫を指定金融機関に指定するもの］	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	可決
	一般会計補正予算（第６号） ［３億890万9千円を増額するもの］	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	可決
	国民健康保険特別会計補正予算（第２号） ［140万円を増額するもの］	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	可決
	介護保険事業特別会計補正予算（第１号） ［270万円を増額するもの］	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	可決
	水道事業会計補正予算（第１号） ［649万9千円を増額するもの］	○	○	×	－	×	○	○	○	○	○	可決
	令和５年度一般会計決算認定	×	○	○	－	○	○	○	○	○	×	認定
	令和５年度国民健康保険特別会計決算認定	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	認定
	令和５年度後期高齢者医療特別会計決算認定	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	認定
	令和５年度介護保険事業特別会計決算認定	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	認定
	令和５年度サンセットコイン事業特別会計決算認定	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	認定
	令和５年度水道事業会計決算認定	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	認定
	令和５年度温泉事業会計決算認定	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	認定
	観光地域づくり整備事業　黄金崎クリスタルパーク改修工事請負契約の締結 ［工事費5335万円で契約するもの］	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	可決
	観光地域づくり整備事業　黄金崎公園芝生広場公衆トイレ解体及び新築工事請負契約の締結 ［工事費5665万円で契約するもの］	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	可決
	道路メンテナンス国庫補助事業　汁谷橋長寿命化対策工事請負契約の締結 ［工事費5225万円で契約するもの］	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	可決
	地震財特法の延長に関する意見書	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	可決
	最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書	×	×	×	－	○	×	－	×	×	○	否決

議長（堤　豊）は採決に加わりません。

地域計画の町の方針は

（町長）アンケートを実施

松田貴宏（まつだ たかひろ）議員

質問　農業経営基盤強化促進法に基づき、これから地域計画の策定が行われる。この地域計画には、町として何かしらの方針を示すのか。

町長　８月末までアンケートを実施し、これからまとめに入ります。町といたしましては今年度中に計画を策定いたします。

南海トラフ地震臨時情報の商工業者への影響は

業種によって様々な影響が出ました

質問　南海トラフ地震臨時情報の商工業者への影響の把握と対応は。

町長　観光協会に調査をしたところ、宿泊施設は全体的にマイナスの影響がありました。マリンレジャーに関しては全体的にキャンセルが多く、お土産物屋さんや飲食店は前年並み、もしくは良かったというところもあり、業種によって良かったところ、良くなかったところ、様々な影響が出ました。町はこれらの影響に対し、特段対応は考えていません。

ヘリコプターの燃料は

備蓄することで調整

質問　地震が起きた際はヘリコプターによる輸送が行われるが、拠点となる旧洋らんセンター跡地の地震への対応や、燃料の保管状況は。

町長　ヘリコプターが離発着する場所の地震への対応は行っていません。燃料庫は、御殿場などで遊覧飛行しているヘリが飛行後に当町に来て給油するなど、駐機できる環境を整えれば、当町でも遊覧飛行を行え、利用料金の軽減が図れるため設置しました。しかし、現在御殿場の遊覧飛行は離着陸場の整備工事により行われていないので、燃料の備蓄は行っていません。ただ、南海トラフ地震臨時情報の発表を受け協議を再開し、遊覧飛行の小型ヘリ用ではなく、災害時に活用できるヘリ燃料を備蓄することで調整しています。改めて、初動対応マニュアルの整備なども協議を始めています。

作ったけど使っていない燃料庫

一般質問

こども園安良里候補地の進め方は

（町長）現場確認後に測量費を再上程

高橋敬治（たかはしけいじ） 議員

質問　こども園建設候補地の安良里中田避難地周辺はダンプ公害が懸念され、測量業務は時期尚早だと否決されたが、今後の進め方は。

町長　現場確認が終わってから再度上程したいです。

質問　それぞれの建設候補地での開園時期の想定は。

教育委員会事務局長（以下「局長」とする）　安良里は10年、田子は９年または10年、仁科は10年あるいは11年と考えます。

質問　早くても２年半、遅ければ４～５年後だが、その間の子供たちの安全対策は。

局長　救命艇を検討しましたが、設置に前向きな意見は聞かれませんでした。その後も良策には至っておりません。

質問　伊豆海では乳児（３歳未満）を連れて高台避難するのは無理がある。乳児の受け入れを停止し､幼児（３歳以上）のみにするのは法的にできるのか。

局長　可能です。

伊豆海を閉園し仮設園を最終決定しないと難しい

質問　こども園を利用しない家庭に「在宅育児手当」の支給を提案するが。

局長　保護者の理解、町の労働力不足なども踏まえて検討する必要があります。

質問　伊豆海は幼児でも避難は難しい状況なので閉園し、旧田子小に仮設のこども園を開園したらどうか。

局長　旧田子小は第２候補であり、候補地が最終決定しない状況下では難しいです。

旧西中裏山の調査費用を議会に認めてもらえれば

質問　保護者の多くは仁科地区を要望しており、建設までの間、園の安全が確保されるなら新たな候補として、旧西伊豆中裏山の切土造成を提案するが、事前調査費用が出せないか。

町長　色々な提案に対し調査はしたいですが、その結果不必要だった場合に無駄な費用と言われます。それを承知の上で議会に認めてもらえるなら可能です。

園児たちの津波に対する安全は確保できているのか

町長として行政運営の基軸は

（町長）今まで通りや過去踏襲ではなく

浅賀元希（あさかもとき）議員

質問　町長として７年以上が経過したが、行政運営を行う上で基軸となる考え方は。

町長　今まで通りや過去踏襲ではなく、必要なものはしっかりと行う一方、見直すべきものは、見直すよう心掛けています。

質問　暗礁に乗り上げ、前に進んでいない状況に陥っていると言える文教施設事業の今後の進め方は。

町長　スピード感をもって進めてきましたが、目的地までたどり着いていない状況です。今後も地道に１つずつ問題をクリアすることが良いと考えます。

質問　認定こども園や学校整備は、それぞれ早く進めるべきだと思うが、学校整備について認定こども園の完成を待ってからでは遅くなるため、同時進行する必要もあると思うが同時進行することに何か問題はあるか。

町長　違う場所に建設するのであれば同時進行は可能だと考えますが、建設場所の方向性が決まるまでは拙速に手を出してよいものではないと考えます。

三島市方面の通院支援は
現段階では難しい

質問　高齢者世帯などで三島市方面へ通院していてバスに乗ることも困難な方もいる。この方々の通院支援対策を構築できないか。

町長　大沢里で「お助け隊」として活動していただいていますが、活動範囲は外出支援として３時間以内となっており、長距離の通院支援は、交通事故に対する安全確保や支援者側の負担感を考えますと現段階では難しいと考えます。

質問　気象台から熱中症警戒アラートが発令された場合同報無線で告知されるが、当町でのクーリングシェルター設置の考え方は。

町長　町の施設にクーリングシェルター的な利用でお越しの方もいます。町では、状況を理解し受け入れております。民間施設でも受け入れているところもあり、協定締結のご提案を頂いている事業所もあります。

みんなで涼しくクーリングシェルター（福祉センター）

一般質問

「巨大地震注意」のマニュアルは

（町長）ありません

堤（つつみ）　和夫（かずお）議員

質問　今回、気象庁は南海トラフ地震の大規模発生率が上がっているとして、「巨大地震注意」の情報を発表した。非常に分かりにくい情報で、町としての対応マニュアルはあるのか。

町長　マニュアルはありません。南海トラフ地震臨時情報は、町も国に振り回されている状況で、いまだに、今後どのような対応を取るべきだと言う明確のものは来ておりません。

質問　「巨大地震注意」が一週間発表された形になるが、日常の防災・減災意識の再認識はどのように行うのか。

町長　今回の「巨大地震注意」があるなしに関係なく、出前講座を行い、防災意識の高揚に努めております。

質問　浜岡原子力発電所に対する廃炉の意見書の送付は。

町長　この問題は国策として議論されるべきもので、エネルギー政策の一端と認識していますので、あえて意見書の送付はしません。

こども園の建設予定地は

中田避難地を再上程

質問　認定こども園の建設予定地は、園児の約50%以上が集中し、位置的にも宇久須と大沢里の中間であること、建設候補地が町有地であることを考慮に入れ、答申書の第２候補地②の旧西伊豆中学校跡地に建設するのが良いと考えるが。

町長　中田避難地を時期が来たら再上程します。

質問　松崎高校敷地内に中学校を併設することは可能か。

教育長　可能だと考えます。

発電しながら森林整備は

林業経営体と相乗効果

質問　木質バイオマス発電をしながら、森林整備を合わせて実施していく計画だがどのように実施するのか。

町長　木質バイオマス発電の燃料として必要な木材の量を確保するために森林整備をより促進します。町内のバイオマス発電所が、建材に適さない木材でも安定的な価格で買い上げることで林業経営体の経営を安定させる効果があり、森林整備との相乗効果があります。

巨大地震注意発表で海水浴場に掲示された遊泳禁止の看板

返還免除条件つき奨学金制度は

（町長）10月1日から受付開始

仲田慶枝（なかだよしえ）議員

質問　人口減少が止まらない。対策としての転入促進策のうち、返還免除条件付きの奨学金制度は昨年の９月定例会で質問した。創設に前向きとの答弁を得、本年度予算にも奨学金返還支援金が計上されている。現在の進捗状況は。

町長　奨学金を受けた方が前年度の10月１日から一年間の返済額を、町が月12万円を上限に全額補助するもので、受付開始に向け準備中です。チラシやHP、町政懇談会などを利用、松崎高校や下田高校でも三者面談での周知をお願いしました。

質問　町外出身者は対象にならないのか。

まちづくり戦略課長　大学卒業後に当町に移住して働く場合は対象となります。

質問　予算に計上の446万４千円の根拠は。

まちづくり戦略課長　一般的な返済額を基準に医学部２名分、他学部で６名分で計算しました。

町で既設の奨学金制度は

現在、利用者はいません

質問　既設の町の奨学金制度の利用状況は。

町長　現在、利用者はいません。他の奨学金制度が充実したことにより、利用者が選んでいると捉えています。

町独自の奨学金制度創設は

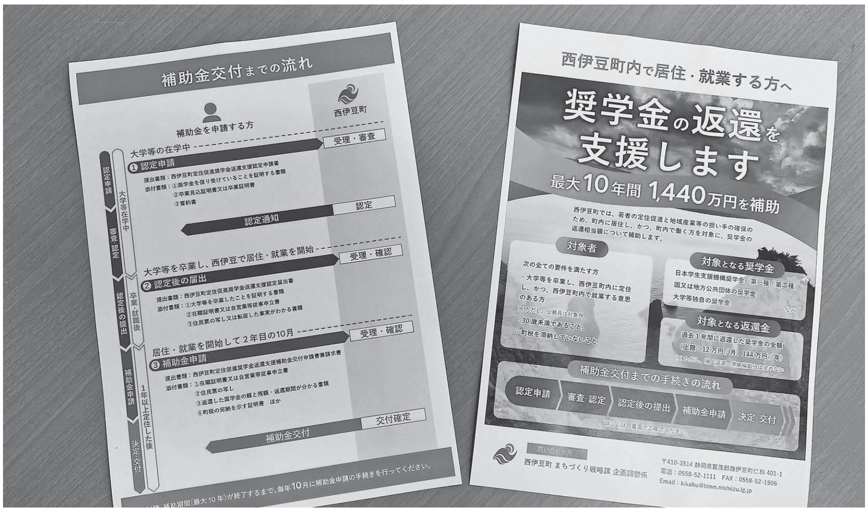
現在、検討中です

質問　特別交付税対象の定住促進奨学金返還支援金の次の町独自の奨学金制度とは。

町長　西伊豆町出身者の人口を維持する取組みとして町内の子供たちを対象とし、大学など卒業後に町に戻って来ることを条件に返還免除します。給付型に近い奨学金制度を検討中です。

質問　一旦外に出ても戻って来たいと考えている子供たちを支援したいが。

まちづくり戦略課長　他の奨学金と異なりまして、返済する必要はありませんので、家計の負担がなく安心して学業に取り組んでいただけます。



10月から受付開始の定住促進奨学金返還支援パンフレット

一般質問

外国人雇用の事業者への支援は

（町長）現状ではできないと考えています

芹澤（せりざわ）　孝（たかし）　議員

質問　人口戦略会議に消滅可能性自治体とされ、脱却には特に社会減（転出者－転入者）の対策が特に必要と分析された。５年は50人の転出超過だが、外国人が36人転入超過により改善された数字である。当町においても外国人労働者の存在が社会減を改善しているので、外国人を雇用している事業者が、将来にわたって存続して行くために地方税の住民税・事業税・固定資産税・自動車税などの軽減か、その他の事業継続の支援はできないか。

町長　現状ではできないと考えています。一部そういった見方もありますが、マンパワーとしてどちらが有効なのかと考えた時、こういった方々を多く雇いますと、日本の地元で働く方の就業場所を奪ってるということになりますので、一概にこの方々の受入れを全てよしということも難しいんだろうと考えます。

若年女性の仕事支援は

女性の意見を頂いて

質問　人口減少対策として若年女性（20～39歳）の増加を求められるが仕事が問題となる。

当町は子育て支援に関して先進的な政策を行っているが、女性の仕事に関する支援策はほとんどない。女性の仕事に関する支援政策、職域の確保、創出と子育て支援にも力を入れる複合的な政策が、若年女性を増やす一助になるのではないか。

まちづくり戦略課長　今後は子育て世代の女性の意見をたくさん頂こうと考えています。

また、現在行っています「まちづくり懇話会」は、委員の半分の６名は女性です。その中には、地域おこし協力隊の任期後に町内で起業された方も含まれるなど、女性からのご意見を頂けるような体制をとっておりますので、これらを今後の施策に取り込みながら、進めていきたいと考えています。

西伊豆町を支え人口減改善にも貢献する外国人労働者

議会の動き

第 1 常 任 委 員 会 報 告

総　務　課

７月５日に総務課の所管事務調査を行いました。

勤怠管理システムが新しく

今年度より、職員はスマートフォンのアプリを利用して、出勤退勤の打刻をするようになりました。

今まで手間がかかっていた時間外や年休、代休と、勤務時間の集計がしやすくなり、申請の電子化が進みました。これにより総務係の担当事務が軽減されるとともに、会計年度職員の給与の支払いを職員と同じ日にすることとしました。

また、集計した勤怠データのグラフを出すこととし、状況が見えるシステムになっています。

役場の中でも部署によって残業が多いところと少ないところがあります。勤怠データを活用して、適切な人員配置を進めるとともに、新しい事業を始めるときには、予算だけでなく人的資源も考慮してもらいたいと思います。

難しい職員採用

３年から５年にかけては、職員採用の募集に平均して15名程度の応募がありました。そのうち、町内出身者が22.2%、西伊豆町を除く賀茂郡･下田市出身者が4.4%、賀茂郡・下田市を除く静岡県内出身者が48.9% です。

採用は３年から５年の間の平均で毎年５名ほどです。そのうち、町内出身者が28.6%、西伊豆町を除く賀茂郡･下田市出身者が14.3%、賀茂郡･下田市を除く県内出身者が42.8% です。

高校卒業程度の区分での採用は、直近では平成31年と４年に１人ずつと、近年では少なくなっています。

昨年度から、新規採用から３年以下の職員の住居を借り上げ、月額６万円の助成に相当する支援をしています。４年度採用の３名と、５年度採用の３名が利用しています。

人口の動向からすれば、若年者層は減るばかりなので、採用は今後も難しいと思われます。少ない人数で行えるように役場の業務を見直す必要があると思います。せっかく採用に至った職員が数年で離職することに対しては、しっかりした検証が必要です。

電子入札が始まりました

昨年９月から電子入札が当町でもはじまりました。業務の効率化などのメリットがある一方、業者は電子入札のシステムを導入するのにお金がかかります。県の工事はすべて電子入札によって行われるため、県の工事に参加する業者はシステムを導入している一方、そうでない業者は導入していないところが多く、当町では従来の紙による入札も併用しています。

電子化はこれから避けては通れないものですが地域の実情にあった運用も大事だと考えます。

会　計　課

７月５日に会計課の所管事務調査を行いました。

基金の一括運用

昨年度の会計課の所管事務調査で、会計課長より基金を一括して運用したいという説明がありました。利益や損失が出たときに、どのようにそれぞれの基金に配分するのか、それぞれの基金の性格などを踏まえて一括運用を行う範囲をどうするのか、それぞれ明確にしていく必要があることから、「公金の管理及び運用に関する取扱要領」に町が一括運用に関わる記載を追加し、あわせて関係する基金の条例の条文を統一的に改正し、今年度より基金の一括運用が始まりました。

公金出納集計表

町の指定金融機関や収納代理金融機関における公金の出入りを、統一した書式で集計して、件数や金額がすぐにわかるようにしています。

今までは手作業で集計していたものが、電子化されることにより作業が合理化されました。

また、金融機関に手数料を支払う際には、件数がすぐにわかるので、請求のあった金額を町でも確認しやすくなりました。

基金の運用は、毎年多くの利益を町にもたらしています。一方で、その元金となっているのは活用されていない税金です。多くの利益があがったからよしとするのではなく、適切な加減を見極めることも、議会に求められてくると思います。

第１常任委員長　松田貴宏

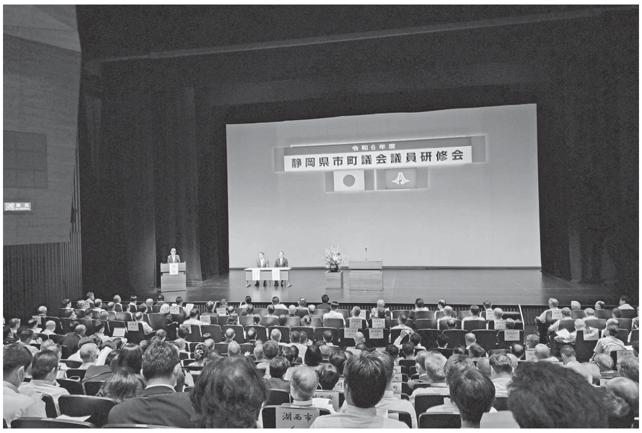
静岡県市町議会議員研修会

７月18日に静岡市の「グランシップ」で、静岡県市町議会議員研修会が開催されました。

「激変する2024年の日本経済、コロナ後に輝く地域・リーダーの条件」と題し経済ジャーナリストで作家の渋谷和宏氏にご講演をいただきました。

昭和22年から昭和33年までに生まれたシニア層が、今の消費活動を引っ張っているということで、コロナ禍から治まりつつある今はリベンジ消費が活発になるので、観光も健康をうたったり、回遊性があったり、MaaS（マース：モビリティ　アズ　ア　サービス）などの取り組みが大事になってくるということでした。

また、優れた経営者として日本IBMの北城恪太郎氏の「無私のこころ」のお話をうかがいました。自分のことを棚に上げて、お客様のことを心から考えて提案するからこそ、提案が実現したというお話でした。議員は投票で選ばれますので、「私が」というのがどうしてもありますが、町民のことを考えれば、おのずと道が見えてくる課題もあるように感じました。



議員研修会の様子

第１常任委員長　松田貴宏

第　２　常　任　委　員　会　報　告

６年７月９日に産業振興課とまちづくり戦略課の所管事務調査を行いました。

産業振興課

地域商社について

【目的】

町と民間企業で組織を立ち上げ、町内で伐採した木材を燃料として、木質バイオマス発電事業を展開し、町内林業の振興を図るものです。

【地域商社概要】

参加組織	出資金額	取締役
西伊豆町	800 万円	３名
(株)トビムシ	100 万円	１名
AGC ミネラル（株）	100 万円	１名

【事業】

《施設建設費》　　３億 519万１千円

うち県補助金　１億3813万２千円

《設備内容》　チップ製造機　チップ乾燥機

木質バイオマス発電機40kW　３基

ふるさと納税の現状について

５年度寄付額８億32万6,500円前年比33％の減、寄付件数５万4,946件前年比46％の減。要因は、原材料や経費の高騰と国のルール変更により、寄付額を上げたため返礼品の量が減少したことだと捉えています。

まちづくり戦略課

第２次西伊豆町総合計画について

【基本構想】

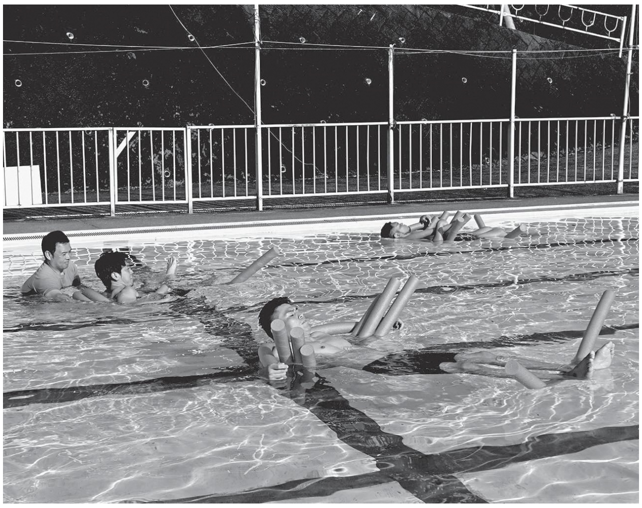
２年度からの10年間にわたり目指すまちの将来像への方向性や目標を明らかにし、これを達成するための基本的な施策の大綱です。

【６年度の取組】

総合計画策定後、前期５年間が終了するため、今年度は後期５年間の基本計画策定見直しを行うもので、町民アンケート、まちづくり懇話会や庁内会議などを経て総合計画審議会に諮問します。

ＩＣＯＩプロジェクトについて

静岡県では、温泉を活用し、食や運動等を組み合わせた伊豆に適したヘルスケア産業の創出に３年度から取り組んでいます。この事業をＩＣＯＩプロジェクトと称し、西伊豆町においてもこれまで県内のプロスポーツチームと連携協定を結び、やまびこ荘プールを使用したトレーニングや東海大学を中心に温泉を活用した、アクティブリカバリーのためのトレーニングメニューを開発し、パンフレット作成後、誘客活動を行っています。また６年度においても600万円の予算で事業を実施していく予定です。



ＩＣＯＩ事業の核となり得る「やまびこ荘プール」

第２常任委員長　浅賀元希

議会(ぎかい)ってどんなところ？

今号では８、９ページに「意見書」という言葉が２回載っています。一般的には考えや意見が書かれた文書という解釈ですが、今号に出てくる意見書は同じ言葉でも出す人、出される人が全く違います。議会でいう意見書とはどういうものでしょうか。簡単にご説明します。

監査委員からの意見書

出す人：監査委員　出される人：町長

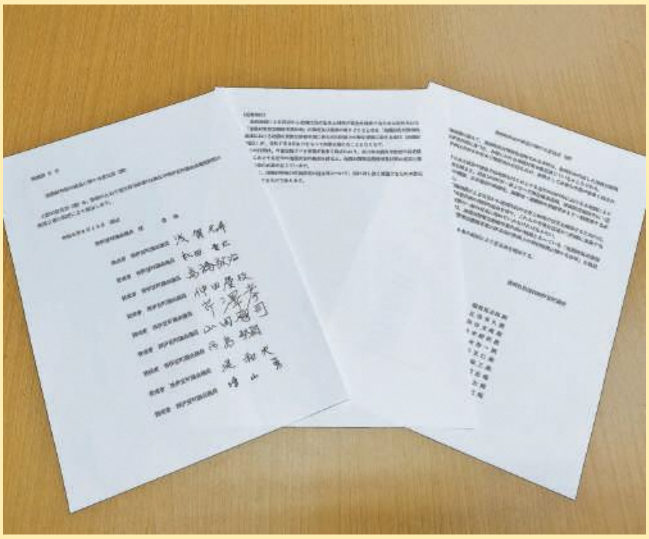
決算認定については第74号でご説明しました。この際、監査委員による「意見書」が町長に提出されますが、これは地方自治法（第233条）で定められています。２名の監査委員は前年度の決算について細かく審査します。膨大な時間と集中力を必要とする大変な作業です。ありがたいことです。財政健全化審査意見書では、４つの健全化判断比率を用いますが、これらは広報にしいず10月号の２ページに詳しく書かれています。「特に指摘すべき事項はない」という意見書でした。指標で報告されると安心ですね。

議会は監査委員の意見書を元に町の財政状況を評価し、適切に予算を執行しているか監視します。このような段階を経ることで、町は行政運営の説明責任を果たし、透明性を裏付けることになります。

国に提出する意見書

出す人：議会　出される人：国

地方自治法（第99条）では、地方議会が国会又は関係行政庁に対して「意見書」を提出することができるとなっています。町は国の制度に基づいて業務を行うことが多いですが、町民のためには変えてほしいこともあります。議員からの発議によって提案、議会での討議、採択を経て、議会の意思として文書をまとめ、国に提出します。これは市町村議会に与えられた権限です。法的な拘束力はありませんが、住民の代表である議会の総意として尊重されるものと信じて提出します。


国へ提出する意見書

令和6年10月15日　発行
編集　西伊豆町議会　広報編集委員会
発行　静岡県西伊豆町議会
住所　〒410-3514 静岡県賀茂郡西伊豆町仁科401-1
TEL(0558)52-1962　FAX(0558)52-1906

【編集委員会より】
本号のご感想や議会に対するご意見・ご要望など、気軽にお聞かせください。TEL：52-1962